

放課後等デイサービス自己評価表（事業者向け）

放課後等デイサービス事業所
わかば

R5.4

	項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
環境・体制整備	①利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			建物の構造上手狭に感じるが、座卓を片付けたり、パーテーションを使用したりして活動に合わせスペースをつくる工夫をしている
	②職員の配置数は適切であるか	○			適切である
	③事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○		借家・建物の構造上、バリアフリー化はできていないが、使いやすさの配慮や工夫は行っている
業務改善	④業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			月1回の会議には職員全員が参加して話し合う場をもち、共通理解に努めている
	⑤保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			評価表の結果から、日々の業務を反省し意識したり、改善策を考えたりする良い機会になっている
	⑥この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページで公開している
	⑦第三者による外部評価を行い、業務改善につなげているか			○	現在第三者による外部評価は行っていない
	⑧職員の資質の向上を行う為に、研修の機会を確保しているか	○			外部の研修会に多数参加した。自主的な研修への参加も多くあった。
適切な支援の提供	⑨アセスメントを適切に行ない、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			月1回のケース会議で子どもの支援や課題について話し合い、保護者との面談も踏まえた上で、個別支援計画を作成している
	⑩子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか			○	今後アセスメントツールの活用ができるという考える
	⑪活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			職員が順番にその日ごとの活動計画を作成し、全員で確認して共通理解に努め支援にあたっている
	⑫活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			様々な活動ができ、曜日ごとの偏りがないように月ごとに計画を立てている
	⑬平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			長期休暇中は、じっくり取り組む課題や活動を取り入れる等、利用時間に合わせて計画や支援を行っている。
	⑭子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			個への支援、集団での支援それぞれの活動を充実させていきたい
	⑮支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎日行っている。非常勤職員も含め、共通理解して支援にあたることができるように確認している
	⑯支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点などを共有しているか	○			日報やサービス提供記録等の記入をしながら、その日に気づいたことや反省点について振り返り、話し合っている
	⑰日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			記録だけに留まらず今後の支援に活かせるよう、努力している
	⑱定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			モニタリング後、今後の支援や目標について見直している
	⑲ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			いろいろな活動ができるように意識して活動計画を立てている

	項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
関係機関や保護者との連携	⑳障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			サービス担当者会議は今年度2回あった。児童発達支援管理責任者が参加した。
	㉑学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか		○		急な変更等、全体的なことに関しては学校から連絡をもらっている。個人的な連絡調整の機会はほとんどないが、SSWさんと連絡を取り、情報共有することはあった。
	㉒医療的ケアが必要な子どもを受入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか			○	現在、医療的ケアの必要な児童はいない
	㉓就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	相談支援員さんが仲介してくれて、情報共有ができるケースも稀にある。
	㉔学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報提供をしているか	○			かけはしシートの作成を行なっている
	㉕児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか			○	必要に応じ、相談支援員さんに仲介をお願いしていく。また、研修会に参加していく。
	㉖放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	今後、交流の機会をつくっていきたい
	㉗(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			参加している
	㉘日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			お迎え時は気になったこと等を伝える程度だが、必要に応じて話しをする機会を設けている。また、連絡帳等を利用し連絡を取り合っている。
	㉙保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか			○	ペアレント・トレーニングは行っていないが、保護者の話を聴き、気持ちに寄り添えるような関わりを意識している
保護者への説明責任等	⑳運営規程・支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			利用契約時に行っている
	㉑保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			努力している。適切な助言や支援のための相談技術や方法を学んでいきたい。
	㉒父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			年に1回の保護者会では少ないと感じている保護者の方もいるようだ。なるべく多くの保護者に参加してもらい、保護者同士の連携を支えていきたい。
	㉓子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			迅速に対応している。苦情解決の対応については、契約時に説明している。
	㉔定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			法人のたより、月ごとのわかばだよりや活動予定等定期的に発信している。
	㉕個人情報保護に十分注意しているか	○			職員に周知し、意識して取り組んでいる
	㉖障害のある子供や保護者との意思の疎通や情報伝達の為の配慮をしているか	○			絵カードやサイン、実物を示すなど、分かりやすく伝わる方法を常に模索している
	㉗事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか		○		コロナ禍によりここ数年行っていなかった。次年度は法人として行う予定がある。

	項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標・工夫している点など
非常時等の対応	③⑧緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		策定しているが、周知しきれていない。立場によって意識の差がある。
	③⑨非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			避難訓練を年に1回、1週間続けて行っている
	④⑩虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			研修に参加している。事業所内でも、虐待防止の意識をもち、職員間で確認を行なっていきたい
	④⑪どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか		○		重要事項説明書に記載し説明している。十分な説明であるか見直していく。
	④⑫食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○		フェイスシート、保護者からの情報で確認、対応している
	④⑬ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			事業所内で共有し、対策について話し合っている